天理市寝具洗濯乾燥消毒サービス事業実施要綱

(目的)

第1条 この事業は、自宅での寝具の衛生管理が困難である、老人福祉法（昭和38年法律第133号）第10条の3に規定される高齢者に対し、寝具の洗濯乾燥消毒サービス（以下「サービス」という。）を行うことにより、当該高齢者の保健衛生の増進及び老人福祉の向上に資することを目的とする。

(業務の委託)

第2条 サービスは、市がこれを業として行う者に委託して行う。

(対象者)

第3条 サービスを利用できる者（以下「対象者」という。）は、次の各号のすべてに該当する者とする。

- (1) 天理市に居住し、同市の住民基本台帳に登録されている者。
- (2) 市民税非課税世帯に属する者。
- (3) 65歳以上の高齢者で在宅の者。
- (4) 寝具の衛生管理が困難な者。
- (5) 次のいずれかに該当するもの

①障害者の雇用の促進等に関する法律（昭和35年法律第123号）第2条第3号に規定される重度身体障害者。

②本市の介護保険被保険者のうち介護保険法（平成9年法律第123号）第7条第1項に基づき要介護認定を受ける者。

2 但し、寝具の衛生管理ができる家族と同居をしている等、当事業を利用する以外の方法により寝具の衛生管理が行える場合は対象外とする。

(事業の内容等)

第4条 サービスは、第2条の規定により委託を受けた者（以下「委託業者」という。）が対象者宅を訪問し、1回のサービスにつき、対象者が使用する掛け蒲団（羽毛蒲団含む）、敷蒲団、その他（毛布程度）を各1枚ずつ持ち帰り、サービスを行う。サービスの実施期

間中に対象者が代わりの寝具を必要とする場合は調整を行う。

2 サービスの利用回数は、対象者1人当たり1年度につき2回以内とする。

3 サービスの自己負担利用料は無料とする。

但し、第1項の内容を超えるサービスの提供を受ける場合は、利用者は必要な費用を委託業者に支払う。

(利用の申請)

第5条 サービスを利用しようとする者は、天理市寝具洗濯乾燥消毒サービス利用申請書(様式第1号)を市長に提出しなければならない。

(利用の決定)

第6条 市長は、前条の審査の結果、適当と認めるときは、天理市寝具洗濯乾燥消毒サービス利用決定通知書(様式第2号)を申請者に通知する。

2 市長は前条の審査の結果、適当と認めないときは、天理市寝具洗濯乾燥消毒サービス利用申請却下通知書(様式第3号)を申請者に通知する。

3 市長は、第1項の決定をした対象者(以下「利用者」という。)に天理市寝具洗濯乾燥消毒サービス利用券(様式第4号。以下「利用券」という。)を当該年度分として2枚交付する。

但し、利用決定した年度の利用券の交付については、申請日が10月1日以降の場合は1枚とする。

(利用の方法)

第7条 サービスは、利用者が委託業者と連絡を取り、日時等を調整して利用する。

2 利用者は、サービスを受ける度に委託業者へ利用券を渡す。

(遵守事項)

第8条 利用者は次に掲げる事項を守らなければならない。

(1) 利用者は、委託業者に協力し円滑な寝具の引き渡しを行うこ

と。

- (2) 利用者が病気その他の理由で当サービスを受けることができなくなったときは、直ちに委託業者に連絡すること。

(利用決定の取り消し)

第9条 市長は、利用者が次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、その利用を取り消すことができる。

- (1) 第3条第1項に該当しなくなったとき。
(2) 利用者が第8条の規定を守らないとき。
(3) 利用者から中止の申し出があったとき。
(4) その他市長が不適當と認めたとき。

2 市長は、前項の規定によりサービスの利用決定を取り消したときは、寝具洗濯乾燥消毒サービス利用決定取消書（様式第5号）を利用者に通知する。

(その他)

第10条 この要綱に定めるもののほか、この事業の実施に関し必要な事項は別に定める。

附 則

この要綱は、平成12年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成17年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成18年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成20年10月1日から施行する。

附 則

- 1 この要綱は、令和4年4月1日から施行する。
- 2 この要綱の施行日以前から当サービスを利用している者については、旧要綱第3条、第6条第3項及び第10条第1項の規定を引き続き適用する。